

Plan (計画)

No	困りごと（事象）		原因 （分析）	どうやったらクリアできる か （仮説）	具体的な取り組み			評価 予定時期	
	内容	誰が			誰が	いつ	どうやって		
1506	地域交流 資源開 発 啓 発	地域との交流や外出を する機会が少ない。	当事者 支援者	・ 障害者の生活の様子や障 害特性、支援方法などが地 域住民に知られていない。	啓発活動の実施 ・ 第3回つながる音楽祭 ・ 企業向けの啓発活動	くらし部会	2019年度中	つながる音楽祭 啓発活動（スー パー）	・ 2019年度末
1801	災害 発生時 復旧時 災	災害時の障害者に対す る柏原市の対応（避難 所の支援体制、避難で きない時の支援、救助 や安否確認の体制等） がわからない。	当事者 支援者	柏原市として、障害者の支 援について具体化されたも のは確立されていないの で、まず自助・共助の部分 で自分たちで取り組める事 を考えて行く。	大阪府のガイドライン等を参 考に、勉強会を開催する。 災害時の障害者支援について の研修会を開催する。	くらし部会 協議会事務 局 障 害福祉課	2019年度中	資料を集め、具 体的な課題につ いて検討してい く。 大阪北部地震被 災地の事業所 や、自立支援協 議会、ゆめ風基 金など具体的な 支援についての 知見があるところから話を聞 く。	・ 2019年度末
1802	災害 発生時	グループホーム、入所 施設では夜間の職員が 少なく緊急時の対応が 困難	当事者 支援者						・ 2019年度末

Check（確認・評価）2019年度評価 2019.3.26

	課題	実行してどうだったか （検証）	クリア（終了）/持ち越し	理由（持ち越す場合は新たな仮説を立てて記載）
く1506	地域との交流や外出をする機会が少ない。	2019年8月第3回つながる音楽祭を開催。ボランティアを含め約80名の参加があり、会場が立ち見になる状況であった。ただ、関係者の参加がほとんどで一般参加者が少ない地域の方の障害理解を深めるため、11/29ふれあいステーションにて、スーパーライフの部署リーダーの方に参加頂き「障害者への適切な対応について」話し	持ち越し くらし部会として、具体的に取り組んでいける課題であるので継続していく。	つながる音楽祭の2020年度の開催については未定。 新しい生活様式に適応した方法を検討し、2020年度も引き続き、市民向けの啓発を実施していきたい。
く1801	災害時の障害者に対する柏原市の対応（避難所の支援体制、避難できない時の支援、救助や安否確認の体制等）がわからない。	市の中でも障害者の支援体制については、検討中である。	部会だけの取組としては課題が大きいのので、事務局会議に上げて、自立支援協議会全体の取組としても検討してもらう。 部会として取り組めることは、持ち越して引き続き検討	大阪府のガイドライン等を参考に、自助・共助の部分で自分たちで取り組める事を考えて行く。 災害時の障害者支援についての研修会を開催する。
1901	災害時の障害者に対する柏原市の対応（避難所の支援体制、避難できない時の支援、救助や安否確認の体制等）がわからない。 （1801を継続）	部会だけの取組としては課題が大きいのので、事務局会議に上げて、自立支援協議会全体の取組としても検討してもらう。（2018年度） と言うことで、9/6定例会の研修として「大規模災害時のBCP」の研修を実施。3月にもBCP作成のグループワークを計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止	持ち越し	それぞれの事業所の取組についての紹介を行ったが、モデルとなるBCPの作成には至らなかった。また、災害時の事業所間の協力関係の構築についても具体化できなかった。
1902	グループホーム、入所施設では夜間の職員が少なく緊急時の対応が困難 （1802を継続）			2020/2/18にGHくるみの樹の見学と世話人交流会を実施。少しでもお互いを知り顔の見える関係を作るため、引き続きGH見学会と世話人交流会を実施したい。